

## 近況報告編

### 夏休み編

我が家の夏休み、過去毎年のように子供達はいろいろチャレンジをしました。

「14歳野宿の自転車一人旅」「16歳北海道単独ツーリング」「18歳四国八十八ヶ所野宿歩き旅」  
「国道1号線始点から終点まで」

他にも限りなく・・・

大人になった今では、自由な時間もなく、子供たちは良い時に遊んだなあとしみじみ思います。  
主だった過去の報告は、カトレアの山野井洋蘭ホームページの

<http://www.ran-yamanoi.com/communication/>

「山野井通信」にそれぞれ掲載しています。お時間の有る時に見てください。

私たち夫婦も今年も自分たちの時間を大切にしました。

「日本の泰平と我が家の春」を願掛けし巡っていた四国八十八ヶ所も8巡目に入りました。また合間に巡っていた関東地方に点在する坂東三十三ヶ所の霊場も無事結願し、西日本に点在する西国三十三ヶ所、関東の坂東三十三ヶ所、秩父三十四ヶ所を合わせた、日本百観音巡礼も結願しました。



日本百観音・四国八十八ヶ所 御朱印掛け軸

毎日毎日じぶんの足だけが頼りのこの旅は、ただひたすらに歩くだけの旅でもあり、なぜやるのか、何のためにやるのか等、考えれば考えるほど答えが見つからない旅でもあります。いつか答えが出せるように、ひたすら頑張るのみです。また11月に、88番札所までの5ヶ寺を巡礼する予定で準備しています。私の遍路には終わりではなく、88番札所から又1番に戻り再スタートします。

「人生は遍路なり」 道端にあった看板を思い出します。

決して信心深いわけでも、宗教に思いを寄せているわけでもありませんが、私の知る限り両親・祖父・曾祖父と歴代の先祖が巡礼していますので、私達も継いでいるわけです。お寺の門をくぐる度、先祖も同じ思いでここを通ったのかと思うと、何かふっと先祖が近くにいて、いつも支えてくれているような、そんな思いがします。

### 「喜仁の夏休み」

昨年の歩き遍路徳島編・高知編に引き続き、夏休みには少し早かったのですが、3月に7日間で高知県足摺岬から愛媛県内子町まで150km、5月に14日間で内子町から香川県高松市までの350kmを歩きました。



また11月に、88番札所までの5ヶ寺を巡礼する予定で準備しています。私の遍路には終わりではなく、88番札所から又1番に戻り再スタートします。

今年もあちらこちらに行きました。

特に昨年の稲刈りの後、母親と2週間かけて長野～富山～石川～京都～岡山～鳥取～島根～広島～山口～福岡～長崎と二人旅ができたことは、良い思い出になりました。今年も10月に東北を親子で2週間まわる予定で計画しています。もちろん妻とも出かけていますよ(^^)



国内にはまだまだ見切れないほどの素晴らしい景色があります。

親孝行には程遠いですが、毎年母との二人旅を続けたいと思います



妻との旅



妻のリクエストでトルコ



カッパドギアとバムッカレ



道後温泉本館



3人の子供たちが山村留学した秋田県北秋田市合川



長男の山村留学記念樹に逢いに



8周目の1番札所霊山寺



愛媛の海



千葉県 濃溝の滝 (亀岩の洞窟)



トラフグ釣れた!



台湾の夜

動けるうちしか遊ばません。食べて歩けるうちにと、楽しんでます。

## 稲刈り編

平成 30 年 8 月 21 日 (火) 稲刈り開始!



待ちに待った稲刈りです。酷暑だったせいで、実りの秋を待たず残暑の中の稲刈りです。

今年はメチャクチャ暑い中の稲刈り開始です。

花の出荷が多い時期に毎年当たってしまうので、まずは本業の花の方を優先しますので、まわりの農家はすでに終わっている農家もあるくらい、我が家の稲刈りのスタートは遅れました。

平日なので、毎年手伝ってくれる子供達がいまません。

妻とふたりで黙々と作業をしました。



時には雷雲迫りくる中をギリギリまで作業です。



刈り取った粃はまとめて乾燥施設に搬入です。



9月9日(日)まで、晴れ間を見つけては刈り取り作業に励みました。

土日は子供たちが手伝ってくれるというので、期待はしましたが天気が悪い週末が多く、思うように進みませんでしたが、大きな台風にもあまり影響されなく、また機械のトラブルもなく、作業中の事故もなく本当に良い稲刈りができました。

稲刈りが終わると、どっと夏の疲れが出ます。きっと、気が抜けるのでしょう。いつまでも若くない自分に気が付きます。

このコンバインも18年目、少し古くなってきましたので、劳わりながらの作業です。稲刈りが終わったら、すべての駆動系のベルトの交換を考えています。



## 本業編

我が家の本業のカトレア栽培。

お米が主な収入源ではないので、お米に関しては幸か不幸か、塩を入れたり、有機栽培を手がけたり、粗植栽培をしたりといろいろと採算度外視の「実験」ができるのです。

我が家のお米づくりは、もうとっくに赤字なので趣味と割り切っています。

趣味ならお金を払って「楽しんでも」良いですからね。

我が家は規模も小さく稲作だけでは全く食べてはいけません。

しかし、先祖から預かっている大切な農地です。荒らすことも手放すこともギリギリまでできません。私の代で農業は終わりかもしれませんが、最後まで農家は貫くつもりです。



栽培面積こそは大きくなりましたが、まだまだ未熟なカトレア栽培です。同業者のみならず、いろいろな方に教を頂き感謝しています。



未熟な私を指導してくれた諸先輩方には感謝の気持ち絶えません。いつも陰日向無く支えてくれ、励まし、隠すことなく本音をぶつけてくれる

皆様の御陰があつてこそ、今の私がいることを忘れず、恩返しができるよう頑張っていきます。

ますます忙しくなるわが身、精進して頑張るつもりです。

## 「全国洋らん品評会」・「関東・東海花の展覧会」・「茨城県花き品評会」

今年も出品したすべての各展覧会、品評会にて金賞、特別賞をはじめ多数受賞しました。次回の受賞に向けて、新たに栽培技術を磨いていきたいと思えます。継続して入賞することができるよう頑張ります。たくさん花をつけ、見栄えが良い作品になれば入賞という概念を捨て、いかにスタイル良くコンパクトでありながら立ち姿に見入るような「山野井スタイル」の作品に変化させてきました。カトレアの魅力をこれからも提案し続けていくとともに、楽しい作品作りに励みます。

「カトレアでみんなを笑顔にする」社訓に恥じない品を、創造し続けることに精進いたします。

以下 2017 秋～2018 春までの受賞作品





「東京ドーム世界らん展 日本大賞 2018」

2018年2月開催

日本洋蘭協会ディスプレイ製作メンバーとして今年も参加、大作を披露しました。  
会場が広いと、幅10m×奥行き6m×高さ5mの作品も小さく見えます。



2018年作品 神奈川沖浪裏



2017年作品



2016年作品 長男・三男と

来年の2019年も準備段階に入りました。2月開催です。

スタッフ紹介

野兎の赤ちゃん 農場に迷い込み保護しています。今や家族の一員です



有害鳥獣 ハクビシン (左) アライグマ (右)

どちらも毎晩農場に出没します。こちらはかわいそうですが捕獲後駆除です。  
雨にも負けず、風にも負けず、異常気象にも、災害にも負けず、  
スタッフの皆に大きく支えられ、今年も一生懸命頑張りました。



カトレアの山野井洋蘭 スタッフ

今日はどこに居るの?と、聞かれるほど毎日のように飛び回っている私。私がそうできるのは、この素晴らしいスタッフに支えられているからです。こんなに素敵なおスタッフに恵まれて幸せです。

早くも農業に携わって27年になります。年々悪くなるばかりの農業社会。高齢化、農地の荒廃、環境悪化、そして何より、農業による環境汚染・・・数えたらきりがありませんが、その中で出来るだけのことを努力して、自分が納得のいく農業を営んでいきたいと思えます。嘆くばかりでなく、出来る事を出来る人がガンバって先を見ていこうと思えます。あと何年米を作れるかわかりません。自分の体と気力がいつまで続くかわかりません。それでも私は一生百姓です。決して妥協せず、地に足をつけて自分の道を全うしたいと思っています。

今年も一生懸命やりました。出来ることは全てやりました。十分納得のいくお米が出来たと感じています。皆様からの励ましの言葉、心に素直に受けとめてその恩返しと思い全力で励みました。今まで親から体で教えられた数々の体験が、今となっては懐かしく感じます。その教えを一つ一つ思い出しながら家族一丸となって頑張りました。子供達にも学校では教えてもらえないことを、私が親から教わったように、見て触って教えました。子供達は、果たして農業を次いでくれるかどうかはまだわかりませんが、親が楽しんで仕事をしていれば必ず、興味は持ってくれると信じています。誰でも出来る農業から、誰にも出来ない農業に、これからも頑張っていきます。今年も妻が頑張ってくれました。なれない大型機械に乗り大苦戦しながらも助けてもらいました。適材適所という言葉が我が家ではありません。誰もが出来なければ仕事にならないのです。私1人では出来なかったことを妻が助けてくれ、今日も片腕となって頑張ってくれています。感謝の一言です。また近所の大先輩方も慣れない私たちに毎日のようにアドバイスをしてくださり、本当に感謝しています。

減化学肥料を追求し続けて今年で26年越しになります有機質や完熟たい肥など可能な限り田んぼに還元しています。

除草剤も極力抑えました。相変わらず我が家の田んぼは草だらけです。どこに行っても我が家の田んぼは見間違わないほど、一目でわかります。稲刈り前に草取りは行いますが、全て取り除けません。皆様にお届けするお米の中にも、もしかしたら雑草の種が混じるかもしれません。ご面倒でも取り除いて頂けたらと思えます。除草剤を減らしているから草が生えてしまう。これが雑草の種の混入の理由の一つです。皆様には御迷惑をお掛けしてしまうかと思えますが、その分精米したてのお米をいち早く発送致しますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

とにかく安全で安心できるものを皆様の所へいつまでもお届けできるよう努力し続けます。何かお気づきの点がございましたら、何なりとご連絡頂けたら幸いです。出来ることはすぐに改善し、より良い生産物をお届けできるよう努力致します。

平成30年9月26日 記

山野井喜仁・君代

3人の息子・喜隆・優仁・淳仁

母・喜美　そして関係者一同より

